

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】平成22年3月11日(2010.3.11)

【公開番号】特開2008-183024(P2008-183024A)  
 【公開日】平成20年8月14日(2008.8.14)  
 【年通号数】公開・登録公報2008-032  
 【出願番号】特願2007-16512(P2007-16512)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【FI】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月12日(2010.1.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技媒体が回転する遊技領域を前面に有し、開口部が前後方向に設けられている遊技盤と、

該遊技盤よりも後方に配設され、前記開口部を通して遊技者側から視認可能な演出領域を含む所定移動範囲で移動可能に支持されている可動装飾部材と、

該可動装飾部材を駆動する駆動手段と、

該駆動手段の駆動状態を制御する駆動制御手段と、

前記可動装飾部材の移動方向と同じ方向に順に並んで略同一平面上に配設されており、いずれも前記可動装飾部材に対応する形状を呈し、装飾を補助する複数の発光装飾部と、

前記可動装飾部材の位置を検出する検出手段と、

該検出手段の検出結果に基づき前記可動装飾部材と前記発光装飾部との相対位置を認識し、前記可動装飾部材の位置に対応する前記発光装飾部を点灯させる発光制御手段とを具備することを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載した遊技機であって、

前記発光装飾部は、前記可動装飾部材の移動方向と同じ方向に略等間隔で配設されていることを特徴とする遊技機。

【請求項3】

請求項1または請求項2に記載した遊技機であって、

前記発光装飾部が点灯する時は漸次光量を増加させ、前記発光装飾部が消灯する時には漸次光量を減少させる漸次調光手段をさらに具備することを特徴とする遊技機。